

授業が変わる！児童が変わる！学校が変わる！

総合的な学習の時間

小学校版



社会とつながる



人とつながる



教科とつながる

単元構想

事例：土佐打ち刃物

3つの視点から児童の姿を思い描く

児童の関心や疑問

◆児童のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する

農家の人と一緒にしたニラの収穫体験がおもしろかったな。もっと地域の人と知り合いたい！

今までも体験があって、とっても楽しかったから、今度も楽しいことをいっぱい体験したい！

地域へ出て行って、いろんなものを調べたり、つくったりしてみたいな！

児童は、地域の人々と一緒に活動したり、教えてもらったりすることを、予想以上に楽しんでいたな！それじゃあ、地域の人々と関われるような単元を考えよう！

教師の願い

- ◆全体計画・年間指導計画を踏まえてどのような資質・能力・態度を育てたいのか具体的に考える
- ◆授業のイメージを学年で共有する

児童は地域に興味をもっているから、それを生かしてこれまで扱ったことが無い「伝統・文化」に目を向ける単元を作れないかな？

全体計画には、内容に「先人の知恵や伝統の意味に気づき、それを大切にしようとする」とあるから、「伝統・文化」に目を向ける単元はよいと思います。

それなら、地域に残っているけれどあまり知られていない「土佐打ち刃物」を扱うのはどうでしょう？これなら児童が調べることが多くありますよ。

「土佐打ち刃物」なら、育てたい資質・能力にある「他者の願いと自分の願いの双方が実現するように考えたり、他者と協力して課題を解決したりしようとする」とにつながりますね。

教材の特性

- ◆教材と出合う姿を思い描く
- ◆教師の願いが児童に伝わるような単元名を考える
- ◆教材として広がりがあるか、どのような対象や活動が考えられるかウェビングで確かめる

土佐打ち刃物は、「伝統・文化」の学習には大変よい教材だと思います。世界的にも高い技術なのに、地域ではあまり知られていないし、職人も減ってきています。自分たちの地域のよさだけでなく、問題点に明確に迫れる教材ではないかと思っています。

以前は地域に密着していたようですね。今は職人も減って、あまり知られていない土佐打ち刃物を、自分に引き寄せて考える、つまり、自分ごとにすることが大切だと思いますが、どういう方法が考えられるでしょうか？

「土佐打ち刃物」に関わる人との出会いが大切だと思います。地域に職人さんがいますので、児童の探究心が高まったら出会いの場を設定するつもりです。ただ、教材が土佐打ち刃物で本当によいのか、まだ不安もあります。

それなら、全体計画を見たり、「土佐打ち刃物」が教材としてふさわしいか、ウェビングをしたりするといいですよ。

探究的な学習として単元を展開するイメージを思い描く

(小学校編)今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 令和3年3月 P89～96

「なぜ？ どうして？」本気になる

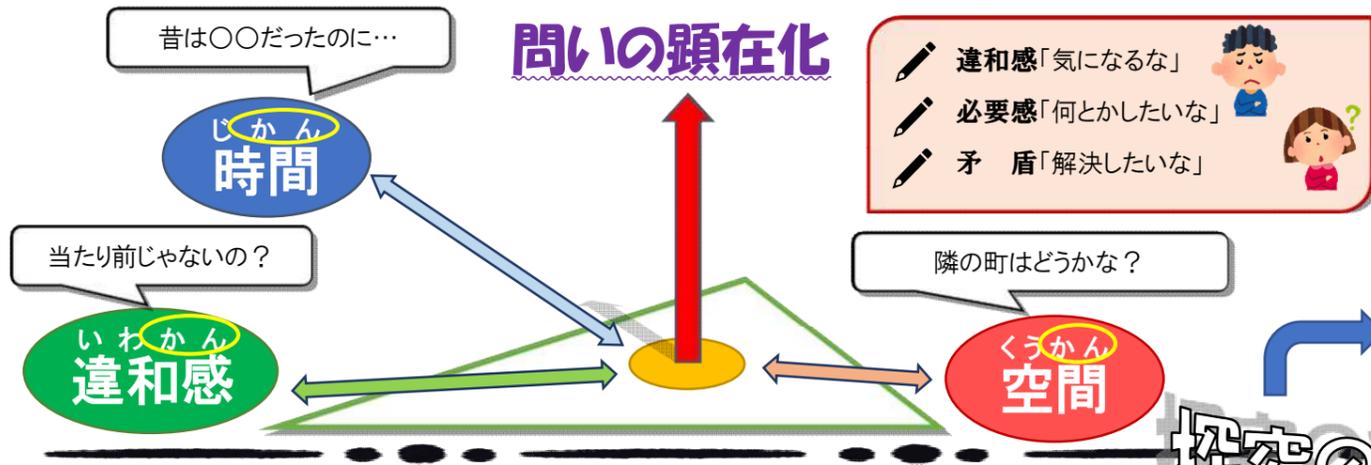
課題の設定



体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ

【指導のポイント】

- 実社会や実生活の問題を取り上げる
- 見通しを明らかにし、ゴールとそこに至るまでの道筋を鮮明に描くことができるような学習活動の設定を行う
- **意図的な働きかけ**を行い、学習対象との関わり方や出会わせ方などを工夫する
- これまでの児童の考えとの「**ずれ**」や「**隔たり**」を感じさせたり、対象への「**憧れ**」や「**可能性**」を感じさせたりする



探究のプロセス

「もっと知りたい！ 伝えたい！」
次につながる

まとめ・表現



気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

【指導のポイント】

- **相手意識**や**目的意識**を明確にしてまとめ・表現させる
- まとめ・表現させ、**児童自身の考え**や**新たな課題の自覚**につなげる
- 伝えるための具体的な方法を身に付けさせ、それらを目的に応じて選択して使える場面を設定する

相手意識を明確に!!



各自、各グループなりの、独創的な表し方(具体的な事例、図式やイラストなど)を用いて伝える

「もっと知りたい!調べたい!」 夢中になる

情報の収集



必要な情報を取り出したり収集したりする

【指導のポイント】

- 必要に応じて教師が意図的に資料等を提示する
- より多様で確かな情報の収集を行うため、**各教科等で身に付けた知識や技能を発揮する**場面を設定する
- 体験を通じた**感覚的な情報**の収集や、数値化された**客観的な情報**の収集を行わせる
- その後の探究活動を深めるために、**収集した情報を適切な方法で蓄積**させる



「そうか！なるほど！」思考を深める

整理・分析



収集した情報を、整理したり分析したりして思考する

【指導のポイント】

- 児童が自分たちで情報を吟味できるようにする
- どのような方法で情報の整理・分析を行うのか、児童に決定させる
- **何をどのように考えさせたいのかを意識**し、思考を可視化する「**思考ツール**」を活用する場面を設定する

